USER'S MANUAL

11Mbps 無線LAN コンパクトフラッシュアダプタ

GW-CF11H

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

11Mbps 無線LAN コンパクトフラッシュアダプタ

GW-CF11H

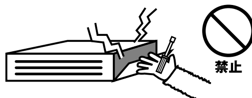
本製品を安全にお使いいただくために

⚠警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

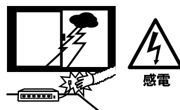
分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



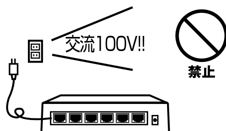
雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



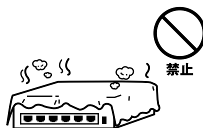
正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



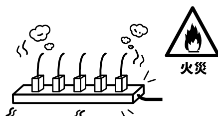
通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



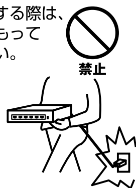
タコ足配線・無理な配線はダメ!

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



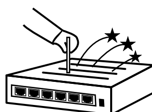
電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



液体・異物は入れないで！

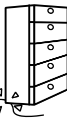
製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、
誤動作したりする可能性があります。
万一異物や液体が入ってしまった場合は、
電源コードをコンセントから外して
弊社サポートセンターまでご連絡ください。




電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。
◇コードの上に物を載せない
◇熱源の側にコードを置かない
◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する
（かじった部分からショートし発火する危険があります）

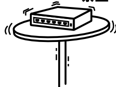




設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。
・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
・直射日光のあたる場所
・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所
・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
・腐食性のガスが発生する場所





◎おねがい

本製品のお手入れ
・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

使用前にお読み下さい

本製品は電波法で定められた小電力データ通信システムの無線局の無線設備として技術基準適合証明を取得済みの製品です。そのため、日本国内のみの使用目的において無線局の免許は必要ありません。

◎法律により次の行為は禁止されています。
･改造および分解（アンテナ部分を含む）
･適合証明ラベルの剥離

1.本製品で使用する1～4チャンネルの周波数帯は、医療機器、電子レンジ等の産業・科学機器のほか工場の生産ライン等で使用される移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局と重複しているため、電波の干渉による障害が発生する可能性があります。本製品の使用を開始する前に必ず本製品の干渉距離内に移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認の上使用を開始してください。本製品は、工場出荷設定で移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局と干渉しない1～4チャンネルに設定されています。
●使用周波数帯域･････････2.4GH z
●変調方式･･････････････DS-SS方式
●想定干渉距離 ･･････････40m以下
●周波数変更の可否･･･････2400～2497.5GHzまでの帯域を使用し移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局で使用される帯域を回避可能

2.万一本製品から移動体識別用の構内無線局にたいして電波の干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更するか本製品の使用を中止してください。
3.その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
4.本製品の使用する5GHz帯は電波法のより屋外での使用を禁じられていますので、ご使用なさらぬようご注意下さい。

このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっています。

■必ずお読みください

第1章　はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

■ご使用方法

第2章　アダプタのインストール

本製品をコンピュータに取り付ける際の手順について説明します。

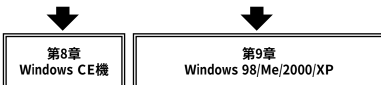
第3章〜第7章　ドライバインストール

本製品を使用するためのドライバインストール手順を説明します。ご使用になるOSに合わせて該当する章をお読みください。



第8章〜第9章　ユーティリティ

本製品の設定や状態表示を行うユーティリティーの使用方法を説明します。



■付録

付録A　トラブルシューティング

「トラブルかな？」と思われる場合の対応方法について説明します。

付録B　仕様

本製品の仕様について説明します。

●マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。WindowsCE3.0のうちHandheld PC 2000を搭載した機種をハンドヘルドPCと、PocketPCを搭載した機種をポケットPCと表記します。また、それらを総称してWindowsCE機と表記します。また、IBM PC/AT互換機をコンピュータと表記します。区別が必要な場合はそれぞれの名称で表記します

●記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

User's Manual　Version 1.0　　No.PMN-02-05-TN-GWCF11H

目次

第1章

はじめに

1 概要

本製品はコンパクトフラッシュスロット Type IまたはType IIスロットをもつハンドヘルドPC及びポケットPC上で使用可能な無線LANアダプタです。本製品を使用することでケーブルの配線、工事等を行うこと無くネットワークの構築が可能になります。IEEE802.11およびIEEE802.11bに準拠し伝送速度は、11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsに対応しています。アクセスポイントを使用するインフラストラクチャモードや端末同士で通信出来るアドホックモードをサポートしローミング機能によりサービスセット間を移動してもアクセスポイントを再認識させること無く使用可能です。またESSIDやWEPなどの機能を使用する事によりより堅牢なセキュリティを保つことが出来ます。

また、オプションのコンパクトフラッシュアダプタ（CF-PCM）を使用することで、PCカードスロットを備えたIBM PC/AT互換機（DOS/V）上でも使用可能です。

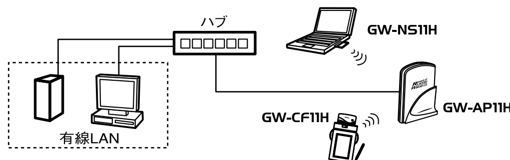


図1-1　無線LAN構築図

2 特長

- ●IEEE802.11/802.11b 準拠
- ●ARIB STD-33A/STD-T66準拠
- ●コンパクトフラッシュ Type I準拠
- ●PCMCIA 2.0/2.1 PC カード標準と互換性があるコンパクトフラッシュ規格 rev.1.4準拠
- ●ノイズに強いDS-SS方式
- ●2.4GHz周波数帯を使用
- ●14チャンネルサポート
- ●11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsを自動認識
- ●ESSIDおよびWEP機能により堅牢なセキュリティを実現
- ●11Mbps時30m 5.5/2/1Mbps時90mまでの通信が可能（屋内使用時、見通し距離）
- ●PIFAアンテナ採用
- ●通信状況が簡単に確認出来る2つのLEDを装備
- ●異なるアクセスポイント間を移動可能なローミング機能に対応
- ●セットアップユーティリティ付属
- ●非通信時に消費電力を抑える省電力機能に対応
- ●オプションのPCMACIA変換アダプタを使用することでPCカードとしても使用可能

3 対応機種および対応OS

GW-CF11Hの対応機種および対応OSは以下のようになっています。

＜Windows CE機＞
PocketPC
PocketPC2000
PocketPC2002
Handheld PC2000

＜PC/AT互換機＞
Windows 98
Windows 98 Second Edition
Windows Me
Windows 2000
Windows XP

4 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

●GW-CF11H 11Mbp無線LANコンパクトフラッシュアダプタ
●ドライバ＆ユーティリティCD-ROM　1枚
●このユーザーズマニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

5 各部の名称

GW-CF11Hにはコンパクトフラッシュスロットに接続するための50ピンコネクタとデータを受信するためのアンテナ部があります。

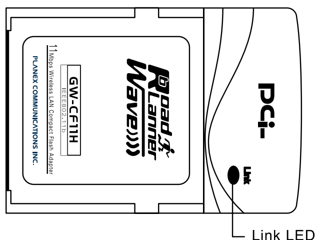


図1-2　GW-CF11H前面図

本製品本体には、1つのLEDインディケータを備えています。

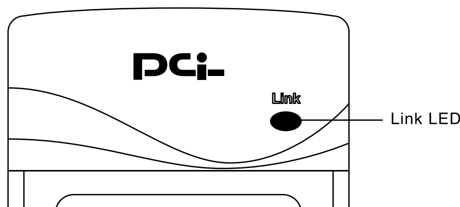


図1-3　GW-CF11H LED

＜Link LED＞
本製品に電源が供給された場合に点滅します。電源が供給されていない時は消灯します。ワイヤレスネットワークが確立された場合に点灯します。

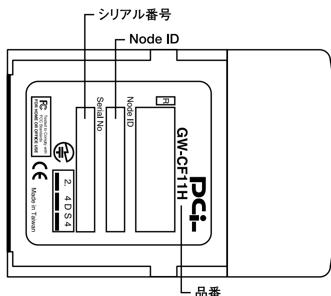


図1-4　カード裏面

＜品番＞
本製品の品番です。

＜シリアル番号＞
本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要になります。

＜Node ID＞
本製品のMACアドレス（物理アドレス）です。

アダプタのインストール

本章ではWindows CE機やコンピュータへのアダプタのインストール方法について説明します。アダプタのインストールは以下の手順で行います。

1 Windows CE機へのアダプタインストール

本製品のラベル面を上にしてWindows CE機の空いているコンパクトフラッシュスロットに挿入します。

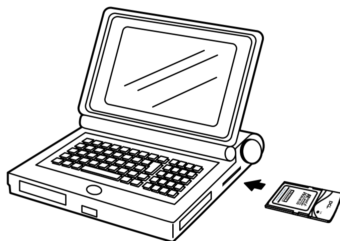


図2-1　コンパクトフラッシュへの挿入

注意

通常は本製品のラベル面を上にしてWindows CE機に挿入しますが、Windows CE機の機種によってはラベル面が下になる場合もあります。お使いのWindows CE機のマニュアルをご確認ください。

2 CF-PCMを使用したWindows CE機/コンピュータへのアダプタインストール

本製品は専用オプションのコンパクトフラッシュアダプタCF-PCMを使用する事で、PCカード（Type II PCMCIA）としても使用できます。

1. **本製品の50pinコネクタ側をCF-PCMの50pinコネクタに挿入します。**

2. **CF-PCMの68pinコネクタ側からWindows CE機/コンピュータのPCカードスロットに挿入します。**

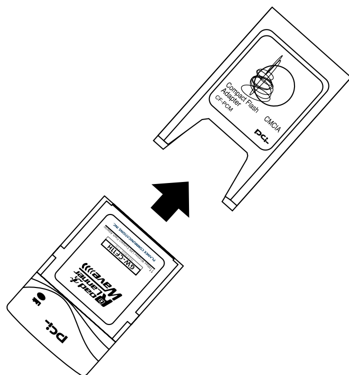


図2-2　オプション取り付け

Windows CE機への ドライバインストール


こでは、本製品をWindows CE機で使用する場合のドライバのインストール方法及び設定方法について説明します。

1 ドライバのインストール

ここではドライバのインストール手順を説明します。

⚠ 注意

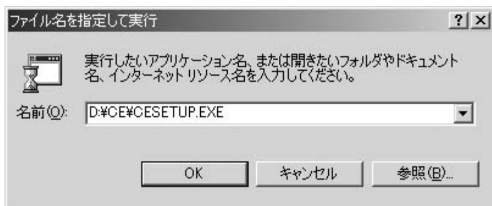
ドライバのインストールにはご使用になられるWindows CE機とMicrosoft ActiveSyncで接続されたWindows 98/Me/2000/XPの動作するコンピュータが必要になります。
Windows CE機とコンピュータの接続及びMicrosoft ActiveSyncについては、Windows CE機のマニュアルを参照してください。

1. Windows CE機とコンピュータをWindows CE機に付属のシリアルケーブルまたはUSBケーブル接続します。コンピュータとWindows CE機をMicrosoft ActiveSyncを利用して接続状態にします。

2. コンピュータのCD-ROMドライブに本製品付属のドライバ&ユーティリティーCD-ROMを挿入します。

3. コンピュータの「スタート」メニューから、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

4.「名前」にD:\CE\CESETUP.EXE（CD-ROMドライブがDドライブの場合）と入力します。



5. ドライバのセットアップユーティリティーが起動します。[次へ] をクリックします。



6.「規定のアプリケーション セットアップ ディレクトリに“ PLANEX GW-CF11H “ をインストールしますか？」とメッセージが表示されますので、[はい] をクリックします。



7. ドライバのインストールが開始されます。「インストールの完了に必要な追加手順がないか、モバイルデバイスの画面を確認してください。」とメッセージが表示されますので[OK] をクリックしてください。



8. インストールが完了し、「ドライバのインストールが完了しました。」とメッセージが表示されます。[完了] をクリックして、インストーラーを終了します。



9. **Windows CE機をリセットします。リセット手順については各Windows CE機のマニュアルを参照してください。**

> **⚠ 注意**
>
> ***誤ってWindows CE機の初期化を行わないように注意してください。リセットと初期化については各Windows CE機のマニュアルを参照してください。***

2 インストールの確認とネットワーク設定手順

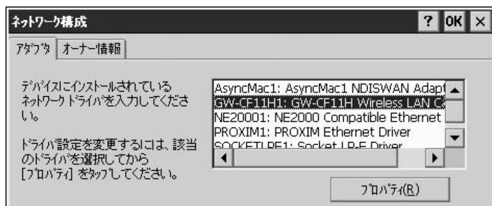
ここでは、ドライバーのインストールの確認と本製品のネットワーク設定手順について説明します。

1. **ハンドヘルドPCでは、「スタート」メニューをタップし、「設定」から「コントロールパネル」アイコンをタップして開きます。ポケットPCでは「スタート」メニューから「設定」をタップし、「接続」タブを開きます。**

2. **「ネットワーク」又は「ネットワークアダプタ」アイコンをタップします。ネットワーク接続ウィンドウが表示されます。**

3. **セットアップされているアダプタのリストに「GW-CF11H Wireless LAN Card」が表示されていたらドライバーは正常にインストールされています。**





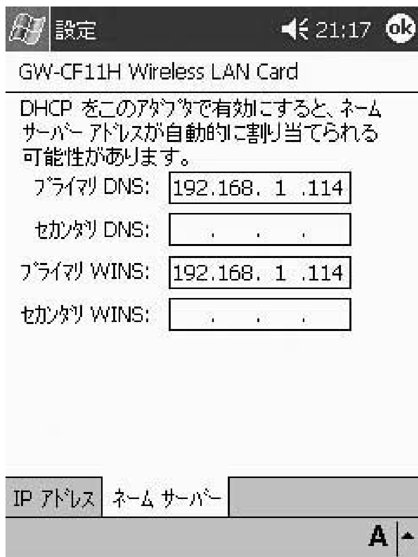
4. **アダプタのリストから「GW-CF11H Wireless LAN Card」をタップします。PocketPC2002では「GW-CF11H Wireless LAN Card」を選択してから「プロパティ」をタップします。**

5. **TCP/IPの設定画面が表示されますので、「IPアドレス」タブを開きます。IPアドレスをDHCPサーバから自動取得する場合には「サーバーが割り当てたIPアドレスを使用する」をタップします。IPアドレスを固定で割り当てる場合には、「指定したIPアドレスを使用する」をタップしてから、「IPアドレス」「サブネットマスク」「既定のゲートウェイ」の各値を入力します。**

設定 21:16 ok
GW-CF11H Wireless LAN Card
サーバーが割り当てた IP アドレスを使用する
指定した IP アドレスを使用する
IP アドレス: 192.168. 1 .220
サブネット マスク: 255.255.255. 0
既定のゲートウェイ: 192.168. 1 . 1
IP アドレス ネーム サーバー

'GW-CF11H Wireless LAN Card' の設定 OK ×
IP アドレス ネーム サーバー
IP アドレスは DHCP サーバーによって自動的にこのデバイスに割り当てられます。ネットワークが自動的に IP アドレスを割り当てない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてから、アドレスを入力してください。
IP アドレスを DHCP サーバーから取得(O)
IP アドレスを指定(S)
IP アドレス(A): 192.168.1 .225
サブネット マスク(U): 255.255.255.0
既定のゲートウェイ(G): 192.168.1 .1

6. **TCP/IPの設定画面から「ネームサーバー」タブを開きます。「プライマリDNS」の値を設定します。ネットワーク経由で、Microsoft ActiveSyncを使用してコンピュータと接続する場合には、「プライマリWINS」にコンピュータのIPアドレスを入力します。**





⚠ 注意

IPアドレスやネームサーバーの設定はネットワーク管理者に相談して行ってください。

7.「OK」をタップしてTCP/IPの設定画面を閉じます。本製品をWindows CE機のコンパクトフラッシュスロットに挿入します。すでに本製品を取り付けている場合は、一旦取り外してから再度コンパクトフラッシュスロットに挿入します。以上でネットワーク設定は終了です。

Windows 98/98 Second Edition

ここでは、本製品をWindows 98/98 Second Editionを搭載したコンピュータで使用する場合のドライバのインストール方法及び設定方法について説明します。

1 Windows 98/98 Second Edition へのドライバのインストール

1. オプションのCF-PCMを取り付けた本製品をコンピュータのPCカードスロットにセットし、コンピュータの電源を入れます。

2. **Windows 98起動時に本製品が自動的に認識され、「デバイスドライバウィザード」ウィンドウが表示されます。[次へ] をクリックします。**



3. **[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する] にチェックを入れ、[次へ] をクリックします。**



4. **検索場所を指定するウィンドウが表示されるので、[CD-ROM ドライブ] のみをチェックし、他の項目からはチェックを外します。**



5. **コンピュータのCD-ROMドライブに本製品付属のドライバ&ユーティリティーCD-ROMを挿入し、[次へ] をクリックします。**

6. **「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」と表示されます。「次へ」をクリックします。**



7. ファイルのコピーが開始されます。ファイルのコピー中にWindows 98 CD-ROM上のファイルを要求するメッセージが表示された場合は、Windows 98の CD-ROMをセットし、ディレクトリ名を入力してください。(例:CD-ROMドライブがDドライブの場合は d:\win98 と入力します。またWindows 98プリインストールのコンピュータではc:\windows\options\cabsと入力します。)

8. ファイルのコピー中に PLANEX Wireless LAN Install Disk上のファイルを要求するメッセージが表示された場合は、本製品付属のドライバ&ユーティリティーCD-ROMセットし、フォルダ名に D:\ (CD-ROMドライブがDドライブの場合)と入力します。

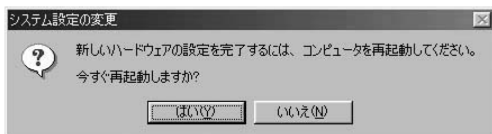
9. しばらくすると「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されます。ここで [完了] をクリックします。



4

Windows 98/98 Second Edition

10. コンピュータを再起動するよう画面で指示してきます。ドライバディスクをドライブから取り出し、[はい] をクリックしてコンピュータを再起動します。以上でドライバのインストールは終了です。



2 ドライバのインストール

ドライバのインストールが終了したら、下記の手順でインストールが正常に終了したかを確認します。

1. **[マイコンピュータ]を開き、そこから[コントロールパネル]を開きます。**

2. **[システム] を開き、[システムのプロパティ] から [デバイスマネージャ] のタブを開きます。**

3. **[ネットワークアダプタ] の左の [+] をクリックして、「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」が表示されるか確認してください。ネットワークアダプタの下に「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」が表示されない、またはアイコンに「?」や「!」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。ドライバを一旦削除してから4-1 の手順で再度インストールします。**



4. 「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」を選択して［プロパティ］をクリックします。プロパティ画面の「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。



5. [リソース] タブをクリックすると、アダプタが使用しているリソース(I/Oポート、IRQ)を確認することができます。



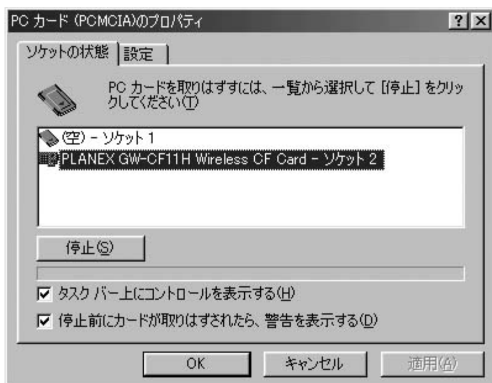
3 アダプタの取り外し

1. ネットワークコンピュータ上のディレクトリが開いている場合はすべて閉じます。また、ネットワークにアクセスしている場合は、アクセスが終了するまで待ちます。

2. 画面右下のタスクトレイに表示されている、PCカードアイコンをダブルクリックします。



3. 「PCカード（PCMCIA）のプロパティ」が開きます。「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」をクリックし、[終了] をクリックします。



4

Windows 98/98 Second Edition

4.「このデバイスは安全に取り外せます。」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



5. 本製品をコンピュータのPCカードスロットから取り外します。

⚠ 注意

上記以外の手順で取り外しを行うと、ネットワークエラーが発生する可能性があります。必ず上記の手順を守って取り外しを行ってください。

4 ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

1.「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」と開いて、「システム」をダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ] タブをクリックしてください。ネットワークアダプタの左の [+] マークをクリックすると「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」が表示されるのでこれを選択し [削除] ボタンをクリックしてください。

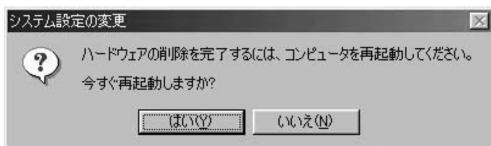


表示されない場合はドライバが正常にインストールされていない可能性があります。もし「その他のデバイス」が存在し、その左の [+] マークをクリックしたときに「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」が表示される場合はこれを選択し [削除] ボタンをクリックしてください。
削除の確認のウィンドウが表示されるので [OK] ボタンを

2. **クリックしてください。**
再起動の要求メッセージが出ますが、[いいえ] ボタンをク



3. **リックします。コンピュータの電源を切り、本製品をコンピュータから取り外してください。**



第5章

Windows Me

ここでは、本製品をWindows Meを搭載したコンピュータで使用する場合のドライバのインストール方法及び設定方法について説明します。

1 ドライバのインストール

1. オプションのCF-PCMを取り付けた本製品を、コンピュータのPCカードスロットにセットし、コンピュータの電源を入れます。

2. Windows Meの起動時に本製品が自動的に認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。

3. 「適切なドライバを自動的に検索する」にチェックを入れ、コンピュータのCD-ROMドライブに本製品付属のドライバ&ユーティリティーCD-ROMを挿入し、[次へ] をクリックします。

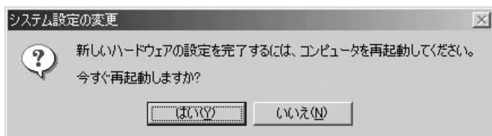


4. ドライバの検索が開始され、自動的にインストールされます。ファイルのコピー中に PLANEX Wireless LAN Install Disk上のファイルを要求するメッセージが表示された場合は、本製品付属のドライバ＆ユーティリティーCD-ROMセットし、フォルダ名に D:\（CD-ROMドライブがDドライブの場合）と入力します。

5. インストールが終了するとウィザードの終了メッセージが表示されますので［完了］をクリックします。



6. 再起動のメッセージがでますので、「はい」をクリックして再起動します。以上でドライバのインストールは終了です。



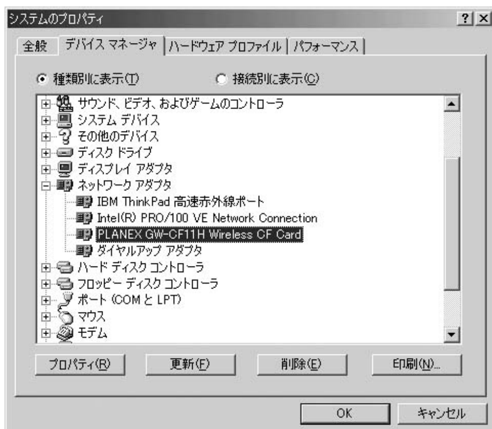
2 ドライバのインストールの確認

ドライバのインストールが終了したら、下記の手順でインストールが正常に終了したかを確認します。

1. [マイコンピュータ]を開き、そこから[コントロールパネル]を開きます。

2. [システム] を開き、[システムのプロパティ] から [デバイスマネージャ] のタブを開きます。

3. [ネットワークアダプタ] の左の [+] をクリックして、「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」が表示されるか確認してください。ネットワークアダプタの下に「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」が表示されない、またはアイコンに「?」や「!」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。ドライバを一旦削除してから5-1 の手順で再度インストールします。



4. 「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」を選択して［プロパティ］をクリックします。プロパティ画面の「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。



5. **[リソース] タブをクリックすると、アダプタが使用しているリソース（I/Oポート、IRQ）を確認することができます。**



3 アダプタの取り外し

1. ネットワークコンピュータ上のディレクトリが開いている場合はすべて閉じます。また、ネットワークにアクセスしている場合は、アクセスが終了するまで待ちます。

2. 画面右下のタスクトレイに表示されている、PCカードアイコンをダブルクリックします。



3. 「PCカード（PCMCIA）のプロパティ」が開きます。「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」をクリックし、[停止] ボタンをクリックします。



4. **ハードウェアデバイスの停止ウィンドウが表示され、デバイスの停止をするか聞いてきますので［OK］ボタンをクリックします。**



5. **「このデバイスは安全に取り外せます。」というメッセージが表示されます。［OK］をクリックします。**



6. **本製品をコンピュータのPCカードスロットから取り外します。**

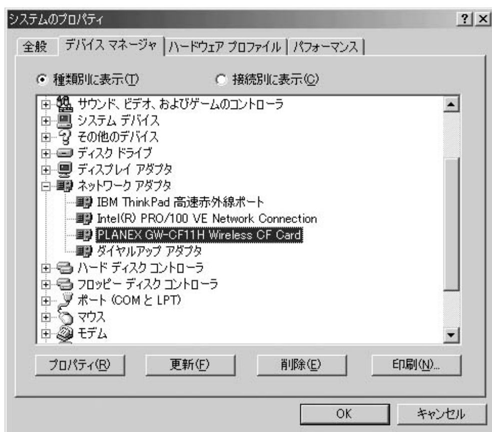
注意

上記以外の手順で取り外しを行うと、ネットワークエラーが発生する可能性があります。必ず上記の手順を守って取り外しを行ってください。

4 ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

1. **「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」と開いて、「システム」をダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ] タブをクリックしてください。ネットワークアダプタの左の [+] マークをクリックすると「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」が表示されるのでこれを選択し [削除] ボタンをクリックしてください。**

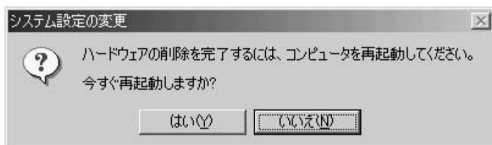


表示されない場合はドライバが正常にインストールされていない可能性があります。もし「その他のデバイス」が存在し、その左の [+] マークをクリックしたときに「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」が表示される場合はこれを選択し [削除] ボタンをクリックしてください。

2. **削除の確認のウィンドウが表示されるので［OK］ボタンをクリックしてください。**



3. **再起動を要求するメッセージが表示されますが、［いいえ］をクリックします。コンピュータの電源を切り、本製品をコンピュータから取り外してください。**



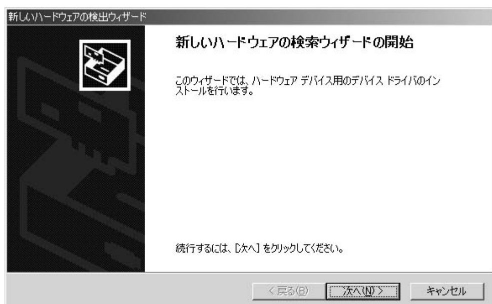
Windows 2000

ここでは、本製品をWindows 2000を搭載したコンピュータで使用する場合のドライバのインストール方法及び設定方法について説明します。

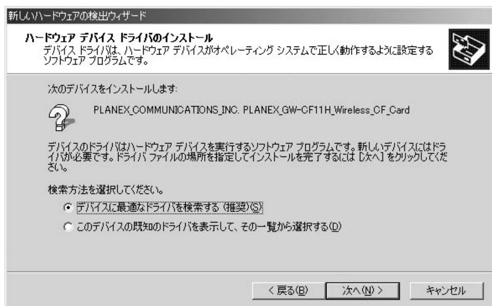
1 ドライバのインストール

1. オプションのCF-PCMを取り付けた、本製品をコンピュータのPCカードスロットにセットし、コンピュータの電源を入れます。

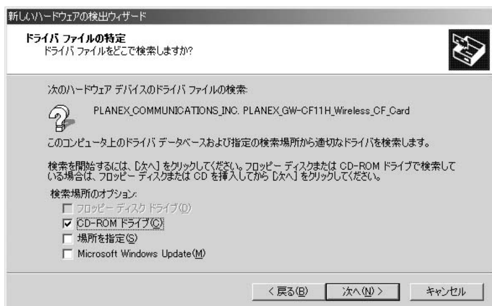
2. Windows2000起動時に本製品が自動的に認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が開始されます。[次へ] をクリックします。



3. **[デバイスに最適なドライバを検索する] を選択し、[次へ] をクリックします。**



4. **検索場所を指定するウィンドウが表示されるので、[CD-ROMドライブ] にのみチェックし、他の項目からはチェックを外します。コンピュータのCD-ROMドライブに本製品付属のドライバ&ユーティリティーCD-ROMを挿入し、[次へ] をクリックします。**



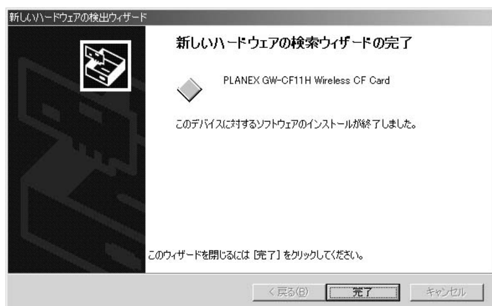
5. **ドライバファイルの検索が終了すると下のウィンドウが開きます、[次へ] をクリックします。**



6. **「デジタル署名が見つかりませんでした」というウィンドウが開きます。[はい] をクリックします。ドライバのインストールが始まります。**



7. **ドライバのインストールが終了すると「新しいハードウェアの検索ウィザードの終了」が表示されますので、[完了] をクリックします。以上でドライバのインストールは終了です。**



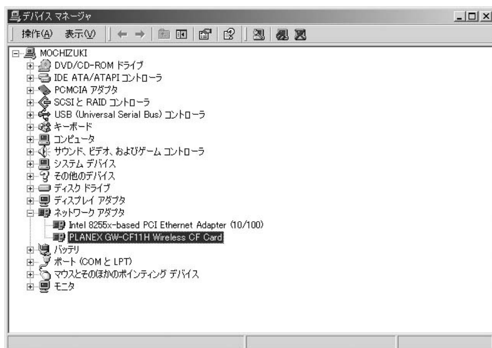
2 ドライバのインストールの確認

ドライバのインストールが終了したら、下記の手順でインストールが正常に終了したかを確認します。

1. [マイコンピュータ]を開き、そこから[コントロールパネル]を開きます。

2. [システム] を開き、[システムのプロパティ] から [デバイスマネージャ] タブを開きます。Windows 2000の場合には[システムのプロパティ] から [ハードウェア] タブを開き、[デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。

3. デバイスマネージャが表示されますので、[ネットワークアダプタ] の左の [+] をクリックして、「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」が表示されるか確認してください。ネットワークアダプタの下に「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」が表示されない、またはアイコンに「?」や「!」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。ドライバを一旦削除してから6-1 の手順で再度ドライバをインストールします。



6
Windows 2000

4. 「PLANEX GW-CF110H Wireless CF Card」を選択して［プロパティ］をクリックします。プロパティ画面の「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。



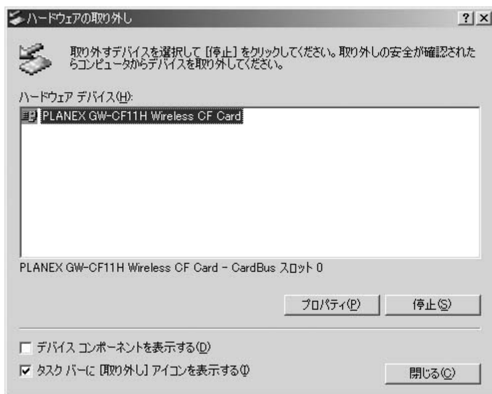
3 アダプタの取り外し

1. ネットワークコンピュータ上のディレクトリが開いている場合はすべて閉じます。また、ネットワークにアクセスしている場合は、アクセスが終了するまで待ちます。

2. 画面右下のタスクトレイに表示されている、PCカードアイコンをダブルクリックします。



3. 「ハードウェアの取り外し」が開きます。「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」をクリックし、[停止] ボタンをクリックします。Windows 2000の場合は再度「ハードウェアの取り外し」ウィンドウが開きますので、「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。



4.「このデバイスは安全に取り外せます。」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



5. 本製品をコンピュータのPCカードスロットから取り外します。

注意

上記以外の手順で取り外しを行うと、ネットワークエラーが発生する可能性があります。必ず上記の手順を守って取り外しを行ってください。

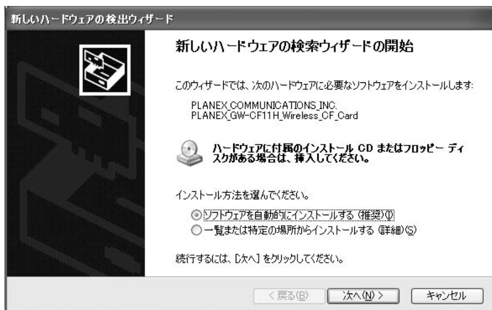
Windows XP

ここでは、本製品をWindows XPを搭載したコンピュータで使用する場合のドライバのインストール方法及び設定方法について説明します。

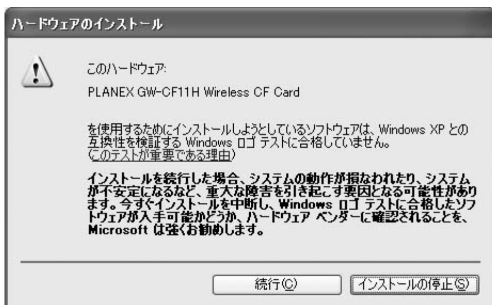
1 ドライバのインストール

1. オプションのCF-PCMを取り付けた、本製品をコンピュータのPCカードにセットし、コンピュータの電源を入れます。

2. Windows XP起動時に本製品が自動的に認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が開始されます。付属のドライバCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、[次へ] をクリックします。



3. **ドライバが自動的に検出され、インストールが開始されます。途中で「ロゴテストに合格していません」というメッセージが表示されますが、「続行」をクリックします。**



⚠ 注意

このメッセージはMicrosoftによるハードウェア互換試験（WHQL）を取得していない場合に表示されます。ドライバをインストールしてもシステムに問題を発生させることはありませんので、インストールを続行してください。

4. **ドライバのインストールが終了すると「新しいハードウェアの検索ウィザードの終了」が表示されますので、[完了] をクリックします。7-2の手順でデバイスマネージャーから本製品が正常に認識されている事を確認します。**



2 ドライバのインストール

ドライバのインストールが終了したら、下記の手順でインストールが正常に終了したかを確認します。

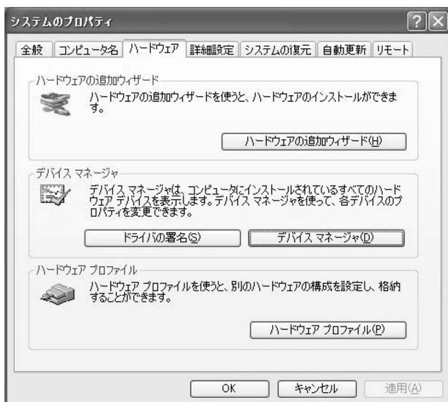
1. **［スタート］をクリックし、スタートメニューからコントロールパネルを選択します。**



2. [コントロールパネル] が表示されるので、[パフォーマンスとメンテナンス] を開きます。[パフォーマンスとメンテナンス] の中から、[システム] を選択します。

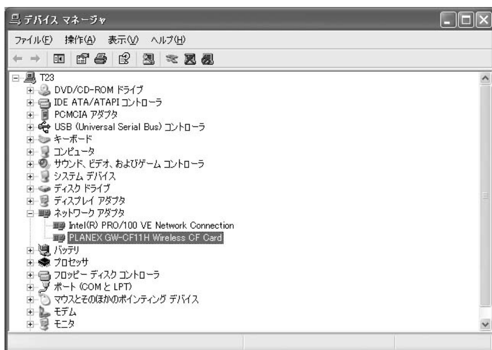


3. [システムのプロパティ] が表示されます。「ハードウェア」タブを開き、「デバイスマネージャ」をクリックします。



1
Windows XP

4. [デバイスマネージャ] から [ネットワークアダプタ] の左の [+] をクリックして、「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」が表示されるか確認してください。ネットワークアダプタの下に「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」が表示されない、またはアイコンに「?」や「!」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。ドライバを一旦削除してから7-1 の手順で再度インストールします。



5. 「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」を選択し、[操作]から［プロパティ］を開きます。プロパティ画面の全般タブの中の「デバイスの状態」に「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。



6. **[リソース] タブをクリックすると、アダプタが使用しているリソース (I/Oポート、IRQ) を確認することができます。**



7

Windows XP

3 ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

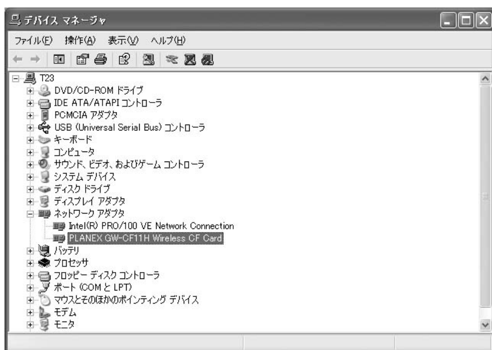
1. **[スタート] をクリックし、スタートメニューをポップアップさせます。スタートメニュー内の、[マイコンピュータ] を "右クリック "して表示されるメニューから、プロパティを選択します。**



2. [システムのプロパティ] が表示されるので、[ハードウェア] のタブを開きます。

3. [デバイスマネージャ] をクリックし、[デバイスマネージャ] を起動します。

4. [デバイスマネージャ] から [ネットワークアダプタ] の左の [+] をクリックすると「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」が表示されるのでこれを選択し、[操作] から [削除] をクリックしてください。



表示されない場合はドライバが正常にインストールされていない可能性があります。もし「その他のデバイス」が存在し、その左の [+] マークをクリックしたときに「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」または「PLANEX GW-CF11H」が表示される場合はこれを選択し [削除] ボタンをクリックしてください。

5. **削除の確認のウィンドウが表示されるので［OK］ボタンをクリックしてください。**



6. **コンピュータの電源を切り、本製品をコンピュータから取り外してください。**

Windows CE用ユーティリティ

ここではWindows CE機用のユーティリティーについて説明します。本製品のドライバにはアダプタの診断および設定ユーティリティが含まれます。このユーティリティには以下の機能を提供します。

●GW-CF11Hの現在の構成を表示します。
●GW-CF11Hのワイアレスネットワーク設定を行います。

1. ハンドヘルドPCから、「スタート」メニューをタップし、「設定」から「コントロールパネル」アイコンをタップして開きます。ポケットPCでは「スタート」メニューから「設定」をタップし、「システム」タブを開きます。

2. 「GW-CF11H Utility」アイコンをタップします。「GW-CF11H Utility」が起動します。

3. 「GW-CF11H Utility」では各タブ事に以下の設定と情報表示が行えます。

■情報

ここでは本製品の情報が表示されます。





8

Windows CE用ユーティリティ

「アダプタ」
本製品のドライバ名が表示されます。

「ファーム」
本製品のファームウェアバージョンが表示されます。

「地域」
本製品の対応している地域表示です。対応地域または地域の認証機関が表示されます。本製品は、日本のレギュレーションに適合しているので「ARIB」と表示されます。

「チャンネル」
現在使用しているチャンネルが表示されます。日本では１～14チャンネルが使用可能です。

「速度」
現在の通信速度が表示されます。通信速度は11Mbps、5.5Mbps、2Mbps、1Mbpsがあります。

「MACアドレス」
本製品のMACアドレスが表示されます。

「ESSID」
現在使用している相手先のESS IDです。

「接続先」
インフラストラクチャモードでの動作時に接続しているアクセスポイントのMACアドレスが表示されます。

「通信品質」
現在の通信品質をメーターで表示します。通信品質は電波強度の中でどの程度ノイズが少ないかを表します。

「電波強度」
現在、使用している周波数帯のアクセスポイントから出ている電波のうちの受け取れている量を表示します。

■設定

ここでは本製品の無線通信の設定を行います。





「ESS ID」

ESS IDを指定することによりワイヤレスLANグループを作成する事が可能になります。ESS IDを指定した場合は同じIDをもつコンピュータまたはアクセスポイントしか通信が出来ません。

ESS IDを設定する場合は「自動接続」をチェックしてESS IDを入力してください。設定しない場合は「固定設定」ラジオボタンをチェックします。

⚠ 注意

ESS IDは32文字以内の半角英数字で指定します。

「ネットワークタイプ」

ワイヤレスLANネットワークには、通常アクセスポイント使用してそれぞれの端末が通信をおこなうインフラストラクチャモードまたはアクセスポイントを使用せずにそれぞれの端末同士が通信をおこなうアドホックモード及びIEEE802.11アドホックモードがあります。



図8-1　アドホックモード

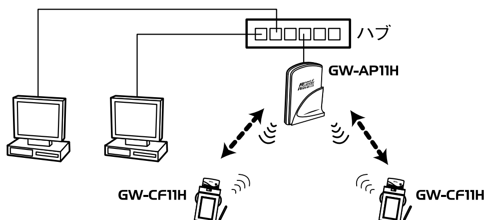


図8-2　インフラストラクチャモード

インフラストラクチャモードでワイヤレスネットワークを構築する場合は「インフラストラクチャ」ラジオボタンをチェックしてください。
アドホックモードでワイヤレスネットワークを構築する場合は、「アドホックモード」ラジオボタンをチェックするか「IEEE802.11アドホック」ラジオボタンをチェックしてください。

それぞれのアドホックモードは以下の違いがあります。使用されるネットワーク環境に合わせて適切な設定を行ってください。

ネットワークタイプ	アドホック	IEEE802.11アドホック
ESS-ID	設定必要無し	設定必要あり
チャンネル	設定必要あり	設定必要なし

「チャンネル」
使用されるネットワーク環境に合わせてチャンネルを設定してください複数のチャンネルが混在する環境で使用される場合は必ず各チャンネルの間を3つ以上空けてください。
インフラストラクチャモード時はアクセスポイントのチャンネルに自動的に合わせます。

「省電力設定」
省電力機能を有効に設定する場合は「有効」を設定しない場合は「無効」をチェックしてください。

「通信速度」
送信速度を設定することが出来ます。AutoRate, 1Mbps, 1/2Mbps, 2Mbps, 5.5Mbps, 11Mbpsから選択可能です。ワイヤレスLANでは、転送速度が遅いほど転送距離が伸びパケットの損失率は下がります。アクセスポイント、端末までの距離が長い、または無線に適していない環境の場合は転送速度を調整する事により最適なパフォーマンスを発揮することが可能になります。

設定が終了したら［変更］ボタンをタップして、設定を有効にします。［初期値］ボタンをタップすると初期設定に戻ります。

■テスト

ここではPingコマンドによる通信テストが行えます。





「送信先」
Pingコマンドの送信先のIPアドレスを入力します。

「タイムアウト」
本製品からEchoを送信してからここで設定した時間内にReplyを受信しない場合にはタイムアウトになります。

「サイズ」
Pingコマンドによる送信パケットサイズを指定します。

［開始］ボタンをタップするとPingを送信し始めます。［終了］ボタンをタップするとPingを停止します。

「送信」
Pingの送信パケット数が表示されます。

「受信」
Pingの受信パケット数が表示されます。

「経過時間」
Pingを開始してからの経過時間です。

■WEP

ここではWEPによる暗号化の設定を行います。

「WEP」

WEP機能は、キーワードを暗号化して転送データにスクランブルをかける機能です。この機能を有効に設定するとより高いセキュリティを使用したネットワークを実現することが可能です。WEP機能有効時には、グループ内の全てのコンピュータが同じ暗号キーを使用する必要があります。WEP機能を利用する場合には［有効］に、利用しない場合には［無効］にチェックします。

「暗号モード」

暗号のキー長を設定します。WEPキーには40ビット長キーと128ビット長キーの二種類があります。使用される環境にあわせてリストボックスから「40bit」または「128bit」を選択してください。

「キー設定」

WEPキータイプが“ Char ”の場合は、任意の英数字で5文字、または13文字で入力します。WEPキータイプが“ Hex ”の場合は、十六進数で0〜9、A〜F、a〜fの間で入力します。40ビットの場合は4つまでキー文字列を作成可能です。40ビットで作成した場合は使用するキー番号にチェックします。128ビットの場合はキー1に登録します。

設定が終了したら［更新］ボタンをタップして、設定を有効にします。［更新］ボタンをタップしないで［戻す］ボタンをタップすると設定が戻ります。［更新］ボタンをタップした直後から設定が有効になります。

■バージョン


GW-CF11H Utility
21:17
ok
状態
設定
接続
暗号化
情報
ドライバ バージョン
Version: 1.0.0
ユーティリティ バージョン
Version: 1.1.0
Copyright
PLANEX COMMUNICATIONS INC.
A


GW-CF11H Utility
OK
状態
設定
接続
暗号化
情報
ドライバ バージョン
Version 1.0.0
ユーティリティ バージョン
Version 1.1.0
Copyright
PLANEX COMMUNICATIONS INC.

「ドライババージョン」
現在インストールされているドライバのバージョンが表示されます。

「ユーティリティバージョン」
現在インストール去れているユーティリティーのバージョンが表示されます。

4. [OK] をタップすると「GW-CF110 Utility」が終了します。以上でアダプタの設定は終了です。

第9章

Windows 98/ME/2000/XP用ユーティリティ

ここではWindows 98/ME/2000/XP用のユーティリティーについて説明します。本製品のドライバにはアダプタの診断および設定ユーティリティが含まれます。このユーティリティには以下の機能を提供します。

GW-CF110のドライバ＆ユーティリティーCD-ROMにはアダプタの診断および設定ユーティリティが含まれます。このユーティリティには以下の機能を提供します。
●GW-CF11Hの現在の構成を表示します。
●GW-CF11Hのワイアレスネットワーク設定を行います。
●GW-CF11Hの基本的機能の診断を行います。

1 GW-CF11H Utilityのインストール

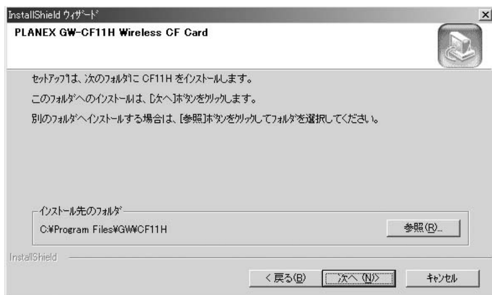
ここでは付属のユーティリティーのインストール手順について説明します。

1. 本製品に付属のドライバ＆ユーティリティーCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。

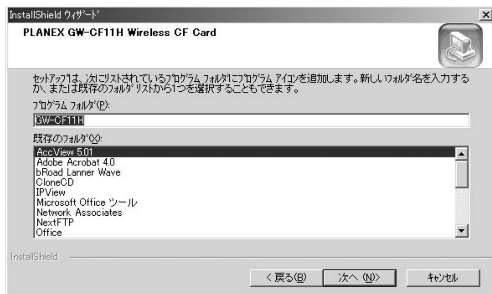
2.「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。「名前」に D:\UTILITY\SETUP.EXE と入力して「OK」ボタンをクリックします。



3. インストーラが起動してインストール先のパスを指定するウィンドウが表示されます。インストール先のパスを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックします。続行する場合は、「次へ」ボタンをクリックします。



4. **プログラムフォルダリストに追加するフォルダ名を指定するウィンドウが表示されます。変更される場合は、新しいフォルダ名を入力してください。続行する場合は、「次へ」ボタンをクリックします。**



5. **「問い合わせ」ウィンドウが表示されたら「はい」ボタンをクリックします。**



これでインストールは、完了です。

2 GW-CF11H Utilityの使用方法

ここでは付属のユーティリティーの使用方法について説明します。

「スタート」メニューの「プログラム」から「GW-CF11H」フォルダを開いてください。フォルダ内の「PLANEX GW-CF11H Wireless CF Card」アイコンをダブルクリックしてユーティリティを起動します。

■ワイヤレス設定



◎GW-CF11Hの現在の状態を表示します。

ウィンドウ下部には、現在の状態が表示されます。

ステータス ··········現在の接続先のESSIDとMACアドレスが表示されます。

チャンネル ··········現在使用しているチャンネルが表示されます。

転送速度 ··········現在の送信速度が表示されます。11Mbps、5.5Mbps、2Mbps、1Mbpsのいずれかが表示されます。

処理状態 ··········現在のデータの送受信量が表示されます。TXが送信している時間あたりのデータ量で、RXが受信している時間あたりのデータ量です。

リンククオリティ ·····現在の接続先との接続品質が表示されます。100%が最も品質が良い状態です。

電波状態 ··········現在使用している電波の強さを表示します。100%が最も電波が強い状態です。

◎GW-CF11Hの設定を行います。
ウィンドウ上部には、無線LANの設定が表示されます。

「プロファイル」
GW-NS11Hは設定情報をプロファイルで管理します。複数のプロファイルを登録する事で、無線LANの設定を簡単に切り替える事が出来ます。新規のプロファイルを作成するときは任意の名前を入力して［保存］ボタンをクリックします。プロファイルを削除する場合は、削除するプロファイルを選択し、［削除］ボタンをクリックします。プロファイルを切り替える場合は、使用するプロファイルを選択し、［適用］ボタンをクリックします。

「ネットワークタイプ」
ワイヤレスLANネットワークには、通常アクセスポイント使用してそれぞれの端末が通信をおこなうインフラストラクチャモードまたはアクセスポイントを使用せずにそれぞれの端末同士が通信をおこなうアドホックモードとIEEE802.11アドホックモードがあります。

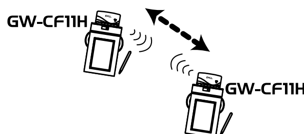


図9-1　アドホックモード

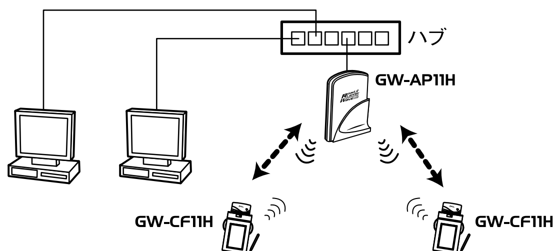


図9-2　インフラストラクチャモード

アクセスポイントを使用してワイヤレスネットワークを構築する場合は「Infrastructure（インフラストラクチャ）」を選択します。

コンピュータ同士でワイヤレスネットワークを構築する場合は、「Pseudo Ad-Hoc（アドホック）」を選択するか「IEEE802.11 Ad-Hoc（アドホック）」を選択します。

それぞれのアドホックモードは以下の違いがあります。使用されるネットワーク環境に合わせて適切な設定を行います。

	コンピュータとコンピュータ（アドホック）	IEEE802.11アドホック
ESS-ID	設定必要無し	設定必要あり
チャンネル	設定必要あり	設定必要なし

「アドホック使用チャンネル」
「Pseudo Ad-Hoc（アドホック）」または「IEEE802.11 Ad-Hoc（アドホック）」を使用してワイアレスネットワークを構築する場合は「チャンネル設定」リストボックスから使用するチャンネル番号を選択します。

「転送速度」
転送速度を設定することが出来ます。Auto/1/2/5.5/11Mbpsから選択可能です。ワイアレスLANでは、転送速度が遅いほど伝送距離が伸びパケットの損失率は下がります。アクセスポイント、端末までの距離が長いまたは無線に適していない環境の場合は伝送速度を調整する事により最適なパフォーマンスを発揮することが可能になります。リストボックスから選択可能な速度は以下の通りです。

「1Mb/s」･･････････････････伝送速度を1Mb/sに固定します。
「2Mb/s」･･････････････････伝送速度を2Mb/sに固定します。
「Auto 1 or 2Mb/s」････････伝送速度を1又は2Mb/sから自動的に選択します。
「5.5Mb/s」････････････････伝送速度を5.5Mb/sに固定します。
「11Mb/s」･････････････････伝送速度を11Mb/sに固定します。
「Fully Auto」･････････････伝送速度を自動的に選択します。

「ESSID」

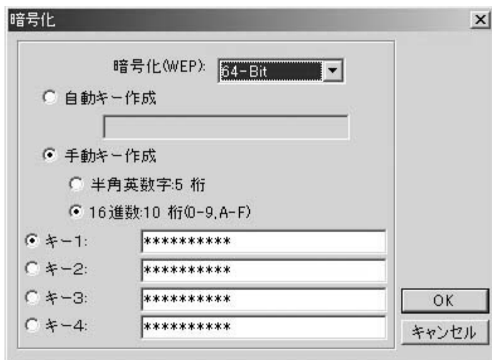
ESS IDを設定することによりワイアレスLANグループを作成する事が可能になります。ESS IDを設定した場合は同じIDをもつコンピュータまたはアクセスポイントしか通信が出来なくなります。ESS IDは半角英数で任意の名前を入力できます。

「BSSID」

BSS IDを使用することで特定の１つのアクセスポイントとのみしか接続しないようにする事が可能です。BSS IDには接続したいアクセスポイントのMACアドレスを入力します。

「WEPキー」

WEP機能は、キーワードを暗号化して転送データにスクランブルをかける機能です。この機能を有効に設定するとより高いセキュリティを使用したネットワークを実現することが可能です。WEP機能有効時には、グループ内の全てのコンピュータが同じ暗号キーを使用する必要があります。以下の手順でWEP機能を設定します。「WEPキー」ボタンをクリックすると以下のウィンドウが表示されます。



暗号化（WEP）：
WEPのキー長を切り替えます。64bit（64bitのWEPを使用）または128bit（128bitのWEPを使用）のいずれかから選択します。

自動キー作成：
WEPキーを任意の文字列によるキーワードで指定するときに使用します。自動キーで作成した場合には接続先には下部に表示されているキーを登録する昼用があります。

手動キー作成：
WEPキーを直接文字列で指定します。

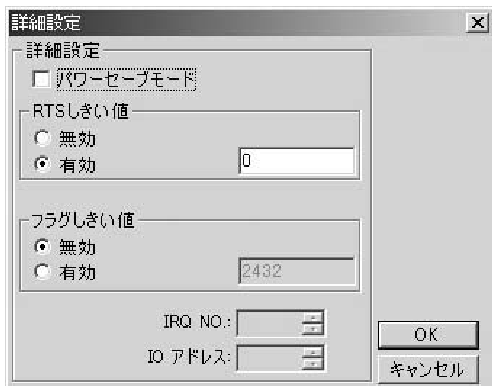
・英数字5桁/13桁：
WEPキーを任意の英数字で指定する場合にはこちらを選択します。64bitのWEPでは5桁、128bitのWEPでは13桁で指定します。

・16進数10桁/20桁：
WEPキーを16進数0-9,A-F）で指定する場合にはこちらを選択します。64bitのWEPでは10桁、128bitのWEPでは26桁で指定します。

・キー 1〜4：
WEPキーを入力します。英数字または16進数の指定した文字列で既定の文字数を入力します。64bitのWEPでは最大で4つのWEPキーを登録出来ます。登録した４つのキーから使用するキーにチェックを入れます。

設定が終了したら「OK」をクリックします。設定が保存／変更されます。

「詳細設定」
詳細設定では無線LANの細かな設定を行います。通常は行う必要はありません。。「詳細設定」ボタンをクリックすると以下のウィンドウが表示されます。



パワーセーブモード：
省電力機能を設定することができます。省電力機能を有効にした場合には、無通信時に送信電波を弱くすることで消費電力を抑えることが出来ます。省電力機能を有効にするにはチェックボックスにチェックを入れてください。

RTSしきい値：
ここで指定されたサイズ以上のパケットを送信する場合にRTS（Reqest To Send）を送信します。同一アクセスポイント接続するクライアントが多く、クライアントが相互に認識されない状態（隠れ端末）の場合にはここの値を小さくすることで改善されます。

フラグメントしきい値:
 パケットの分割サイズを指定します。ここで指定されたサイズより大きいサイズのパケットは、ここで指定したサイズのパケットに分割されます。電波状態が悪いときや接続クライアントが多い場合には、この値を小さくすることで改善されますが、オーバーヘッドが増えるためにスループットは下がります。

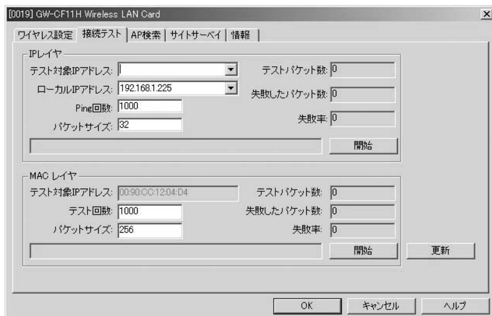
設定が終了したら「OK」をクリックします。設定が保存／変更されます。

「初期値」ボタン
全ての設定を初期設定に戻します。

全ての設定が完了したら「保存」ボタンをクリックします。プロファイルの内容が変更されます。「適用」ボタンをクリックし設定を有効にします。

■接続テスト

ここでは無線LANの接続を確認できます。



◎IPレイヤ

ここではIPアドレスベースでの接続試験が行えます。

「テスト対象IPアドレス」
接続を確認したい相手のIPアドレスを入力します。IPレイヤ試験ではネットワーク上の相手への接続試験を行います。

「ローカルIPアドレス」
複数のアダプタをコンピュータに取り付けている場合、送信元となるIPアドレスを選択します。

「Ping回数」
試験パケットの送信回数を指定します。

「パケットサイズ」
試験パケットのサイズを指定します。

「開始」ボタン
[開始] ボタンをクリックすると、試験パケットの送信を開始します。途中で止めたい場合には [開始] ボタンをもう一度クリックします。

◎MACレイヤ

ここではMACアドレスベースでの接続試験が行えます。

「テスト対象アドレス」
現在の接続先のMACアドレスが表示されます。MACレイヤ試験では無線の接続先への試験を行います。

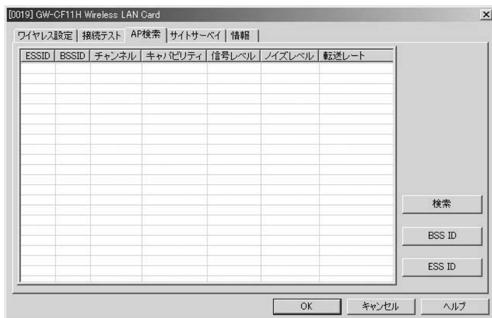
「テスト回数」
試験パケットの送信回数を指定します。

「パケットサイズ」
試験パケットのサイズを指定します。

「開始」ボタン
［開始］ボタンをクリックすると、試験パケットの送信を開始します。途中で止めたい場合には［開始］ボタンをもう一度クリックします。

■AP検索

ここでは接続可能なアクセスポイントを検索します。

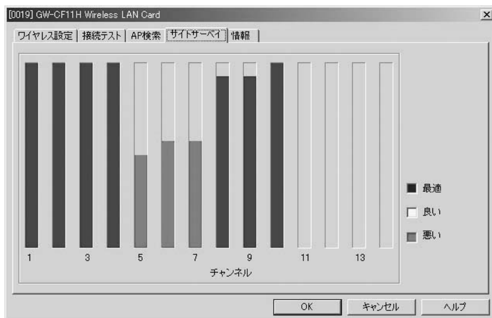


「検索」ボタン
接続可能なアクセスポイントの検索を行います。検索後接続可能なアクセスポイントの一覧が表示されます。

「BSSID」ボタン
アクセスポイントの一覧から接続したいアクセスポイントのBSSIDを取得します。アクセスポイントを選択してからこのボタンをクリックします。ワイヤレス設定のBSSID欄に自動的にBSSIDが入力されます。

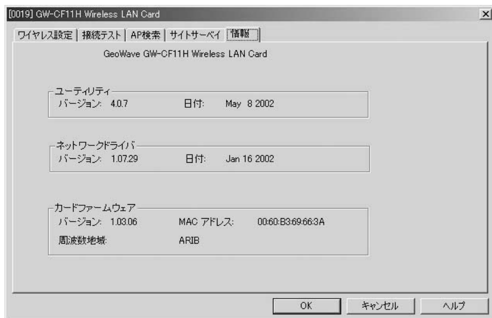
「ESSID」ボタン
アクセスポイントの一覧から接続したいアクセスポイントのESSIDを取得します。アクセスポイントを選択してからこのボタンをクリックします。ワイヤレス設定のESSID欄に自動的にBSSIDが入力されます。

■サイトサーベイ



各チャンネルの電波状態をグラフで表示することが可能です。バーの高さ色は、混信や干渉等のクオリティを表します。
青：最適
黄：良好
赤：問題あり

■情報



「ユーティリティ」
ユーティリティのバージョンです。

「ネットワークドライバ」
使用しているカードのドライババージョンです。

「カードファームウェア」
使用しているカードのファームウェアバージョンです。

トラブルシューティング



ここでは本製品のインストール時に発生する代表的な問題点とその対応方法について説明します。

■WindowsCE

●ドライバのインストールが出来ない。

→本製品のドライバをWindowsCEにインストールするには、WindowsCE機とコンピュータをMicrosoft ActiveSyncで接続状態にする必要があります。WindowsCE機とコンピュータが正しく接続されているか確認してください。

●ドライバが正常にインストールされているがLINK LEDが点灯しない。

→ネットワークタイプが正しく設定されて無い場合があります。接続したい相手に合わせたネットワークタイプを選択してください。アクセスポイントが接続先の場合にはインフラストラクチャモードに、コンピュータが接続先の場合にはアドホックモードに設定してください。

→通信速度が合っていない場合があります。通信速度が接続先と同じ設定になっているか確認してください。

→チャンネルが合っていない場合があります。アドホックモードの場合には通信相手と同じチャンネルに設定する必要があります。同じチャンネルに設定されているか確認してください。

→WEPの設定が間違えている場合があります。WEP機能を利用する場合には、同じ暗号キー同士の機器でしか接続できません。WEP機能を利用している場合にはWEPキーの設定が同じか確認してください。

●ドライバが正常にインストールされ、LINK LEDも点灯しているがネットワーク経由でアクセス出来ない。

→通信しようとしているコンピュータが通信プロトコルでTCP/IPを使用しているか確認してください。本製品をWindowsCE機で利用する場合にはTCP/IPプロトコルでの使用になります。

→ネットワーク経由でDOS/V機と同期するには「プライマリWINS」の設定が必要です。ネットワークの設定から「プライマリWINS」に同期させるDOS/V機ののIPアドレスを入力します。

→ESS IDが違っている場合があります。ESS IDを設定している場合には同じESS IDの機器同士でしか通信できません。ESS IDが接続先と同じ値になっているか確認してください。

●ドライバが正常にインストールされ、LINK LEDも点灯しているがネットワーク経由でインターネットにアクセスできない。

→IPアドレスが正しく設定されているか確認してください。IPアドレスの設定が間違えていると通信できません。

→DNS（ドメイン・ネーム・サーバー）及びデフォルトゲートウェイの設定に問題がないか確認してください。ネットワークの設定を開いて、設定されている値に問題がないかネットワーク管理者に問い合わせてください。

■Windows98/98SeconfEdtion/Me/2000

●アダプタを取り付けてコンピュータを立ち上げたが、アダプタが検出されない。

→本製品をPCカードとして使用するにはCF-PCM2が正しく接続されている必要があります。本製品とCF-PCM2が正しく奥まで差し込まれているか確認してください。

→本製品はPCMCIAスロット用アダプターカードです。PCMCIAアダプターが正常にインストールされていない場合は、検出されません。デバイスマネージャーの「PCMCIAソケット」の中にあるデバイスが正常に動作しているか確認してください。「！」マークなどが付いて正常に動作していない場合はご使用のコンピュータのメーカーにお問い合わせください。

→デバイスマネージャーの「その他のデバイス」の中に「PCI Ethernet Controller」が入っていないか確認してください。入っている場合は削除してからコンピュータを再起動してください。

●Windowsのデバイスマネージャーでアダプタに「！」マークが表示される。

→リソースの競合の可能性があります。デバイスマネージャーからアダプタのプロパティを開き、[リソース] タブを開きます。リソースが競合している場合は、競合しているデバイスのリソースを変更してください。また、取り付けているスロットを変更した場合に競合が解消される場合もありますので、取り付けるスロットを変えてみてください。

→ドライバがのインストールが正常に終了していない可能性があります。
一旦、デバイスを削除してからコンピュータを再起動して、ドライバをインストールしなおしてください。

●ドライバが正常にインストールされているがLINK LEDが点灯しない。

→ネットワークタイプが正しく設定されて無い場合があります。接続したい相手に合わせたネットワークタイプを選択してください。アクセスポイントが接続先の場合にはインフラストラクチャモードに、コンピュータが接続先の場合にはアドホックモードに設定してください。

→通信速度が合っていない場合があります。通信速度が接続先と同じ設定になっているか確認してください。

→チャンネルが合っていない場合があります。アドホックモードの場合には通信相手と同じチャンネルに設定する必要があります。同じチャンネルに設定されているか確認してください。

→WEPの設定が間違えている場合があります。WEP機能を利用する場合には、同じ暗号キー同士の機器でしか接続できません。WEP機能を利用している場合にはWEPキーの設定が同じか確認してください。

●ドライバが正常にインストールされ、LINK LEDも点灯しているがネットワークコンピュータを開いてもコンピュータの一覧が表示されない。

→Windowsの起動時に正常にログインしているか確認してください。ログインするときにユーザー名とパスワードを正確に入力してください。

→通信しようとしているコンピュータと同じ通信プロトコルを使用しているか、確認してください。ネットワークのプロパティからインストールされているプロトコルを確認してください。

→ネットワークのプロパティを開いて「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」がインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、インストールしてください。

→ESS IDが違っている場合があります。ESS IDを設定している場合には同じESS IDの機器同士でしか通信できません。ESS IDが接続先と同じ値になっているか確認してください。

●ドライバが正常にインストールされ、LINK LEDも点灯しているがネットワーク経由でインターネットにアクセスできない。

→TCP/IPプロトコルがインストールされているか確認してください。インターネットへのアクセスにはTCP/IPプロトコルが必要です。ネットワークのプロパティを開いて、インストールされていない場合はインストールしてください。

→IPアドレスが正しく設定されているか確認してください。IPアドレスの設定が間違えていると通信できません。

→IPアドレスが自動取得の場合はアドレスが正常に取得できているか、確認してください。スタートメニューからファイル名を指定して実行を選択して、winipcfg と入力して[OK] をクリックしてください。現在のIPが表示されます。ネットワーク管理者に取得しているIPアドレスに問題ないか確認してください。

→DNS（ドメイン・ネーム・サーバー）及びデフォルトゲートウェイの設定に問題がないか確認してください。TCP/IPのプロパティを開いて、設定されている値に問題がないかネットワーク管理者に問い合わせてください。

●アダプターをインストールするとWindowsの起動が遅くなる。

→IPアドレスを自動取得する設定になっており、ネットワーク上にDHCPサーバが存在しない場合に発生する事があります。TCP/IPプロトコルでネットワークを構成されていない環境でしたら、ネットワークのプロパティからTCP/IPを削除していただくか、もしくは適当なIPアドレスを設定してください。

●アダプターのインストール後、Windowsの起動時に文字化けのようなメッセージが表示されたり、「ファイルが読み込めない」というエラーメッセージが表示される。

→ネットワークコンポーネントが正常にインストールされていない可能性があります。ネットワークのプロパティから「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」を一旦削除してから、再度インストールしてください。

仕様

＜準拠する規格＞
IEEE802.11/802.11b、ARIB STD-33A/STD-T66準拠、コンパクトフラッシュ規格 rev.1.4準拠、PCMCIA 2.1/JEIDA 4.2互換

＜バス・タイプ＞
コンパクトフラッシュ TypeI

＜転送速度＞
1/2/5.5/11Mbps

＜周波数帯＞
2.4～2.497GHz

＜チャンネル数＞
14ch

＜通信距離＞
11Mbps時30m 5.5/2/1Mbps時90m（屋内使用時、見通し距離）
※環境により上記距離を満たせない場合があります。

＜アンテナタイプ＞
PIFA

＜変調方式＞
CCK（11Mbps、5.5Mbps）
DQPSK（2Mbps）
DBPSK（1Mbps）

＜LEDインジケータ＞
Link

＜消費電力＞
+3.3V 350mA

＜外形寸法＞
62mm（L）×42.8mm（W）×11.7（H）mm

＜重量＞
20g

＜動作温度＞
0～40℃

＜動作湿度＞
10～80%（結露しないこと）

＜EMI＞
FCC Part 15 Class B

設置環境への注意

無線LANはケーブルの配線や工事等が必要ないため誰でも簡単に使用することが可能ですが設置場所または通信したい端末との間に以下の物質を使用した遮蔽物がある場合は、転送速度の低下あるいは通信出来ないなどの問題が生じます。安定した通信を行うには出来る限りこれらの環境要因を避けて設置してください。

環境要因	転送距離への影響 （＊が多いほど、影響が大きいことを表します。）	具体例
空気	＊	―
石材	＊＊	木材の仕切り
石膏	＊＊	仕切り壁
合成素材	＊＊	ベニヤ板の仕切り
アスベスト	＊＊	天井
ガラス	＊＊	窓ガラス
水	＊＊＊	湿った木材
煉瓦	＊＊＊	煉瓦壁
大理石	＊＊＊＊	石壁
セメント コンクリート	＊＊＊＊	床、壁
防弾ガラス	＊＊＊＊	哨舎
鉄	＊＊＊＊＊	鉄の仕切り 強化コンクリート壁

MEMO

MEMO

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

http://www.planex.co.jp/user/user.htm

弊社へのお問い合わせ

■弊社製品の追加購入

弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。
ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

〈PCIダイレクト〉
http://direct.planex.co.jp/

■製品に関するお問い合わせ

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。
ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

〈ご質問/お見積もりフォーム〉
http://www.planex.co.jp/lan.htm

■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

〈お問い合わせフォーム〉
http://www.planex.co.jp/support/techform.htm
受付：24時間
〈電話〉
フリーダイヤル：0120-415977
受付：月～金曜日、10～12時、13～17時
＊祝祭日および弊社規定の休業日を除く
〈FAX〉
ファクス番号：03-5614-1018
受付：24時間

◇お問い合わせ前のお願い

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。
お客様のご協力お願いいたします。

・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名（Windows XP/Meなど）
・ご利用のネットワークの環境（回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など）
・ご質問内容（現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください）

■その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

プラネックスコミュニケーションズ
http://www.planex.co.jp/

注）上記内容は2002年5月現在の情報です。内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行

FAX：03-5614-1018

送信日：________________

会社名			
部署名			
名前			
電　話		FAX	
E-MAIL			

製品名 Product name.	11Mbps 無線LAN コンパクトフラッシュアダプタ
型番 Product No.	GW-CF11H
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

② ソフトウェア

ネットワークOS		バージョン
OS		バージョン

③ 質問内容

保 証 規 定

プラネックスコミュニケーションズ（株）は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。
本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。
ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

初期不良交換

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。お客様より初期不良である旨申告していただき､弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。
ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

◎初期不良・修理依頼の手順（センドバック方式）

弊社では、センドバック（先に修理依頼品をお送りいただき、弊社より修理完了品をご返却する）方式による修理対応を行っております。

1.本製品に故障・不具合が発生した場合、弊社サポートセンターまでご連絡ください。お送り先をご案内させていただきます。

プラネックスコミュニケーションズ（株）サポートセンター
フリーダイヤル・0120-415977　　FAX・03-5614-1018
Web・http://www.planex.co.jp/support/repair.htm

2.ご案内に従って、修理依頼品を弊社リペアセンターまでお送りください。
（誠に勝手ながら､リペアセンターへお送りいただく際の送料はお客様のご負担でお願いいたします。）
3.当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

免責事項

・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害（事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等）につきましては、弊社では一切責任を負いません。
・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

保 証 書

●弊社の保証規定を必ずご覧下さい●

保証期間 Warranty	西暦　　　　　　年　　　月　　　日　より　1年間
製品名 Product name	11Mbps 無線LAN コンパクトフラッシュアダプタ
型番 Product No.	GW-CF11H
製造番号 Serial No.	

フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
お名前	
フリガナ	
ご住所	□□□－□□□□ 都道 府県
TEL	
FAX	
メールアドレス	

ご購入代理店名 所在地	

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

プラネックスコミュニケーションズ株式会社